

米山学友の群像 vol.6

Facebookで最新ニュースを配信しています
～「いいね!」をクリックして応援してください～



ロータリー米山記念奨学会の
Facebookはこちら



Rotary Districts of Japan  公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281



ロータリー米山記念奨学会のホームページはこちら

ロータリー米山記念奨学会の環境への取り組み



この印刷は環境に配慮した「水なし印刷」と「nonVOCインキ」を採用しています。
また、工場の消費電力量の一部はCO2を排出しないグリーン電力を使用しています。

Yoneyama Alumni in the World





C O N T E N T S

1.ロータリー米山記念奨学事業とは	2
2.世界で活躍する米山学友	5
●YONEYAMA NEWS	18
3.米山学友会の活動	26
●国内学友会	26
●海外学友会	28
4.日本と世界を結ぶ人づくり 事業の要は、カウンセラー	31
5.データで見る米山学友	32

1 ローターリー米山記念奨学事業とは

民間最大の国際奨学事業です

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967年に財団法人として設立の許可を受け、2012年に公益財団法人に移行しました。これまでに世界134の国・地域出身の24,830人(2025年6月末現在)におよぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、民間で最大の国際奨学団体となっています。

【奨学金の種類と採用人数(2025学年度)】

ロータリー米山記念奨学金一覧	月額	募集システム	人数
1. 学部課程	10万円	指定校推薦	918人
2. 修士課程	14万円		
3. 博士課程	14万円		
4. 地区奨励	7万円 ※10万	世話クラブ推薦	2人
5. クラブ支援	10万円(学部生) 14万円(大学院生)		
6. 海外応募者対象	10万円(学部生) 14万円(大学院生)	個人応募	19人
7. 海外校友会推薦	14万円	海外校友会推薦	0人

※ 学部相当とする高専専攻科、専修学校で高度専門士の称号を付与する課程に在籍する場合上記は、2025学年度(4月1日～翌3月31日)の採用数です。

「世話クラブ・カウンセラー制度」による留学生の心のケアを重視しています

ロータリー米山奨学金制度の最大の特徴は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。親善・交流を通じた国際理解を推進する米山奨学事業の要であり、ロータリークラブという地域密着の組織だからこそできる重要な特性といえるでしょう。

奨学生には、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれます。さらに世話クラブの会員の中から、専任のカウンセラーが付いて、奨学生の日常の相談に乗ったり、文化体験の案内役や交流の橋渡しに努めたりして、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。

大学の指導教員と連絡を取り合ったり、自宅に奨学生を招いて家族ぐるみで交流したりする例も多くあります。

奨学生には毎月1回世話クラブの例会に参加することが義務づけられています。そのほかにも、奨学生には、ロータリークラブの例会で母国のことや自分の研究について卓話(スピーチ)したり、クラブ・地区の社会奉仕活動、交流会や研修旅行に参加したりと、ロータリーの活動を通じて、日本文化や地域社会と触れ合うさまざまな機会が提供されます。

「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い魅力として、奨学生はもとより、他団体や大学、行政機関などからも注目されています。



米山カウンセラーとの交流



ロータリーの地区やクラブの行事に参加



奨学生によるスピーチ

世界の平和を願って始まった奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業の歴史は、50年以上前にさかのぼります。

敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して3年後、米山梅吉氏がそれを見ずして、奉仕に捧げた生涯を終えてから6年後のことです。米山梅吉氏が生前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招へいしようというのが基金設立の目的でした。そして、2年にわたる募金活動の後、1954年にタイから第1号奨学生となるソムチャード氏を招へいしたのです。氏は、東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局、タイシルクの増産に貢献しました。

米山記念奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「世界の架け橋」となることを願ってつくられたのです。



米山基金による第1号奨学生ソムチャード氏(1954年)



奨学生懇親会(1958年)

米山梅吉さんって、どんな人?

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏(1868-1946)は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。15歳(満年齢以下同じ)の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡航し、ベルモント・アカデミー(カリフォルニア州)、ウエスレアン大学(オハイオ州)、シラキュース大学(ニューヨーク州)で8年間の苦学の留学生生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソピー(Philanthropy)の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・

医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて緑岡小学校(現在の青山学院初等部)を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。



もっと知りたい人は「米山梅吉記念館」へ!

『公益財団法人 米山梅吉記念館』は、日本におけるロータリーの祖である米山梅吉氏の生い立ちや人となり、功績を伝える資料館です。(当会とは別法人となります)

所在地: 〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
開館時間: 午前10時～午後4時(月曜休館)
ホームページ: <https://yoneyama-umekichi.jp/>

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれ、国境を超えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,568、会員総数1,167,285人(2025年4月15日国際ロータリー公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。なお、世界中のロータリークラブとロータリーアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

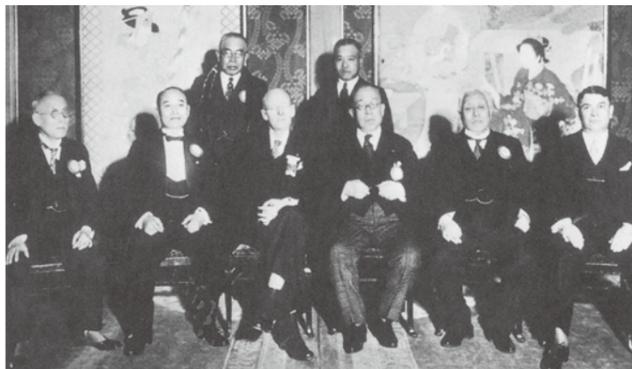
その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,194、会員数82,877人(2025年3月末現在)となっています。

出典:『ロータリーの友』(※)2025年6月号より

※『ロータリーの友』は、日本のロータリー会員向けに毎月発行されているロータリー地域雑誌です。



ロータリーの創始者ポール・ハリス (1868-1947)



1935年、来日したポール・ハリス(前列左から3番目)を囲む米山梅吉(左隣)ら日本のロータリー会員



日本のロータリーの父 米山梅吉 (1868-1946)

2 世界で活躍する米山学友

ロータリー米山記念奨学会では、これまでに2万4千人もの優秀な学友を世に送り出してきました。ロータリー精神に触れ、心を育んだ米山学友は、いま母国で、日本で、世界で活躍しています。

そのすべてをご紹介することはできませんが、ここでは、各国・地域出身の代表的な学友の活躍をご紹介します。

Attention!

各学友の氏名の下に記載されているのは、奨学年度/奨学期間中の所属教育機関/世話クラブ です。国名は、出身の国・地域を指しています。

米山記念奨学会の公式YouTubeチャンネルでは、当財団の事業紹介ビデオや、学友紹介ビデオがご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/@RotaryYoneyamaMF>



詳細はこちら

台湾

Taiwan

ジョ ジュウニン 徐重仁 さん

重仁塾 塾長
(1976-77/早稲田大学大学院/平塚RC)

台湾最大の流通・小売企業「統一超商」の社長として34年にわたり事業を牽引した「台湾流通業の父」。2003年台湾美化協会創立会長、2010年「国家傑出経営者賞」最優秀賞受賞。台北東海RC創立会長。



チャン ユータイ 張裕泰 さん

財団法人張炎虎社会福祉財団 会長
(1981-83/岐阜大学/岐阜西RC)

外科医・救急医としてアジア、アフリカ、中南米など30カ国以上の発展途上国で医療奉仕活動に参加。東日本大震災を含む大地震・土砂崩れなどの多数の被災地で救援活動を行っている。



ツェン グァンツォン 曾光宗 さん

台湾建築学会理事長
(1998-99/東京大学大学院/東京クロスシティRC)

台湾建築学会の第22代理事長。台湾建築界を代表する専門誌「建築師」編集長も担当。台湾・桃園市の中原大学建築系特聘教授として、台湾の建築学教育の質の向上、日本の大学との学術交流に尽力。



シャ ボッケン 謝牧謙 さん

輔仁大学跨文化研究所兼任教授/長崎大学客員教授/中華核学会顧問
(1965-67/東北大学大学院/仙台RC)

「中日工程技術研究会」や「原子力安全セミナー」で長年中心的役割を果たし、原子力分野における日台交流の礎を築く。福島原発事故後の情報発信や理解促進に尽力。令和2年「旭日中綬章」受章。



ライ ミンチュ 頼明珠 さん

翻訳家
(1977-78/千葉大学大学院/松戸RC)

中国語圏を代表する村上春樹作品の翻訳家。海外でもファンの多い村上春樹氏の作品を、世界で最初に翻訳し、台湾で紹介した。以来、台湾で翻訳された村上作品のほとんどを手掛けている。令和5年度「旭日双光章」受章。



リン カミン 林華明 さん

投資顧問・台湾株式投資協会 理事
(1984-86/慶應義塾大学大学院/東京世田谷RC)

投資顧問として複数企業で役員を兼任。日本のベンチャーキャピタル数社と業務締結。台北市東門RC創立会員で、第3520地区の2015-16年度ガバナーを務めた。2026年台北国際大会国際推進委員会委員長。



リン タケキ 林岳毅 さん

台茂寛騰生技股份有限公司 CEO/台茂新農業股份有限公司 社長
(2000-01/札幌大学/札幌清田RC)

炭酸カルシウム、農業用液肥で台湾トップ3に入る「台茂寛騰生技股份有限公司」CEO。関連企業「台茂新農業股份有限公司」社長として日台の食品貿易における販路開拓にも尽力。第3461地区台中文心RC創立会員。



韓国

Korea

ジョン ビョンテ 全炳台 さん

建国大学食品生命科学学科 名誉教授
(1980-83・1991/東北大学大学院/仙台北RC)

韓国における養鹿産業や機能性食品の開発に関する研究に従事。2014-23年に第5代韓国米山学友会会長として学友会の活性化に尽力。第3650地区ソウルブーストコリアRC創立会長で、現在名誉会長を務める。



キム ズンイム 金曾任 さん

順天郷大学校教授/韓国看護科学会会長/韓国母子保健学会理事長
(1997-99/東京大学大学院/東京東久留米RC)

優れた教育と研究により2024年に教育部長官賞受賞。2つの国際学術誌編集委員長としても活躍。大阪市立大学、東京大学と共同研究を行い日本との交流に尽力。科学技術人総連合会理事も務める。



パク ソナ 朴善化 さん

仏画家 / 韓国伝統絵画技法研究者
(2006-08/京都市立芸術大学大学院/京都乙訓RC)

日本で学んだ文化財修復の技能や考え方を、韓国の若者達に伝えながら研究活動を行っている。2018年から4年間、韓国全羅南道松廣寺「華嚴經變相圖」(国宝314号)模写制作の材料や技法について指導。



チェ サンヨン 崔相龍 さん

元駐日韓国大使 / 高麗大学政治外交科 名誉教授
(1969-1972/東京大学大学院/東京日本橋RC・東京城西RC)

「日韓共同宣言」(1998年)の諮問委員を務め、当時の大統領と内閣を説得して、日本文化の開放を進めるなど、両国の関係改善に大きく貢献した。2000-02年、第14代駐日韓国大使を務めた。著書に『中庸民主主義』(筑摩選書、2022年)



キム イクス 金翼水 さん

信州大学 副学長 兼 卓越教授
(1996-98/名古屋大学大学院/名古屋錦RC)

世界で初めて超極細繊維「ナノファイバー」の量産化に成功し、実用化への道を作ったナノファイバーの第一人者。2022年日本文部科学大臣表彰 科学技術賞、2023年韓国化学工学会 発展功労賞など、多数受賞。



ファン セミ 黄セミ さん

韓日同時通訳者
(2001-02/国際基督教大学大学院/東京南RC)

美しい日本語と正確な翻訳技術に定評のあるプロ通訳者。ロータリー日韓親善会議を含む国際シンポジウムやビジネス会議、政府機関、大手企業、金融機関など多数の場で通訳者として活躍。



キム ヨンアン 金容安 さん

漢陽女子大学実務日本語科 名誉教授
(2014-15/昭和女子大学/東京原宿RC)

日本近代文学研究者。2025年、島崎藤村の『夜明け前』を構想から10年をかけて韓国語に翻訳。その他、谷崎潤一郎や安部公房などの小説について論文多数。





林紅さん

清華大学材料学院 終身教授

(1995-96/名古屋大学大学院/小牧RC)

ナノマテリアル工学分野に従事。先進ナノ材料科学を応用した新エネルギー利用技術の研究に取り組む。日中韓の大学間ワークショップで責任者を務めるなど、学術交流の促進にも貢献。



陳玲さん

新潟県立歴史博物館 専門研究員

(1996-97/新潟大学大学院/新潟西RC)

専門は民俗学。新潟県立歴史博物館の専門研究員として企画展を多数担当。民俗資料の評価と活用に関する研究に従事。現在は、寒冷地の日本における衣生活に関する民俗学的研究を進めている。



李焱さん

ACSY LCC代表取締役

(2002-04/東海大学大学院/茅ヶ崎RC)

中国語スクール・翻訳会社を経営。中国語ナレーターとして2020東京オリンピックの招致映像やANA機内番組などで幅広く活躍。NHK語学番組(ラジオ・テレビ)に出演中。文教大学講師、中国語検定の専門アドバイザーも務める。



柯隆さん 公益財団法人東京財団 主席研究員
静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
多摩大学大学院客員教授

(1992-94/名古屋大学大学院/名古屋大須RC)

中国マクロ経済研究の第一人者として知られ、各メディアでの活躍のほか、経団連や経済同友会の会合での講演実績も豊富。財務省関税・外国為替等審議会委員などを歴任。著書・論文多数。



姫軍さん

弁護士(北京市安理律師事務所 パートナー)

(1995-97/東京大学大学院/東京臨海RC)

弁護士として、長年にわたって中国の日本企業を支援している。法律を通じて日中間の相互理解と友好事業に対して多大なる貢献をしたことが表彰され、2021年10月に「在外公館長表彰」を受賞。



劉曉玉さん

景德鎮陶磁大学 美術学院 教授

(2001-03/佐賀大学大学院/佐賀西RC)

文化遺産保存学の博士。「江西省」の吉州窯陶磁器焼成技術および景德鎮伝統色釉磁器焼成技術の認定伝承者。陶芸家として、優れた伝統技術を現代に継承・発信する役割を担っている。



牟元凱さん

Smackbang Flims 勤務

(2013-14/昭和音楽大学大学院/川崎麻生RC)

広告や映画などの映像制作に携わる。中国国内で日本、韓国、マレーシアなど各国チームによる撮影をプロデュース。生成AIを活用した映画制作プロジェクトの推進にも取り組む。



モンゴル

Mongolia

ペレンレイ ツェレンミンジンさん

Raashbulag社 社長

(2001-02/大阪国際大学/寝屋川RC)

ウランバートルで不動産会社を経営。第2代モンゴル米山学友会会長。2024年開催の同学会10周年記念式典では実行委員長を務めた。2022-23年度第3450地区フレールRC会長、2026-27年度ガバナー補佐。



バトザヤ ビヤムバーさん

ハーバード大学 Generate Biomedicines研究員

(2006-08/千葉大学/木更津RC)

新モンゴル高校一期生。千葉大学で修士、東京大学で博士号取得後、ハーバード大学でポスドク。研究分野は組織工学、マイクロ生理学的システム、3Dバイオプリンティング、幹細胞。奨学期間中には、フレールRCと連携し、モンゴル盲人協会とともに教科書の印刷や植樹活動などに取り組んだ。



バンバット トゥメンデルゲルさん

株式会社コムニクス モンゴル駐在員事務所 副所長

(2014-15/大阪大学大学院/大阪東RC)

奨学生時代から現在まで、大阪東RCとモンゴル・フレールRC協同の図書室設置事業に携わる。ローターアクト主導による当事業への世界初のグローバル補助金承認に貢献。第3450地区フレールRC会員。第7代モンゴル米山学友会会長。



ジャンチブ ガルバドラッハさん

新モンゴル学園創立者 / モンゴル国国会議員

(1998-99/山形大学大学院/山形北RC)

モンゴルに日本式教育を導入した「新モンゴル学園」を設立。2021年にモンゴル政府より「功労教師章」。モンゴル米山学友会初代会長。2015-16年度第3450地区フレールRC会長、2022-23年度ガバナー補佐。24年よりモンゴル国国会議員を務める。平成29年に「旭日小綬章」受章。

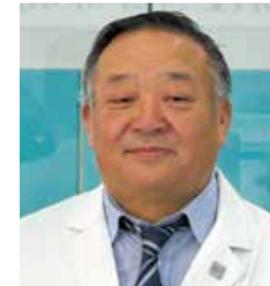


オイドブ バトゲレルさん

モンゴル国立第3病院 研究・研修・国際交流担当副院長

(2005-07/群馬大学大学院/前橋RC)

医療人材育成を目的とした、モンゴルと日本の共同プロジェクトに携わる。医師・看護師・助産師の卒後研修制度の整備や、指導者養成研修カリキュラムの開発などに取り組み、母国の保健医療分野の発展に貢献。第3450地区セルベールRC会員。



ロブサンジャムツ ガンゾリグさん

モンゴル国国会議員

(2009-11/東京工芸大学/小田原城北RC)

工学博士としての専門知識を活かし、日本企業で都市開発のエキスパートとして経験を積む。2024年7月にモンゴル国国会議員に当選し、都市の大気汚染や交通渋滞の解消、市民参加型のまちづくりに取り組んでいる。



エンフジン ヒシグトグトフさん

アジア人間開発センター 勤務

(2016-18/長岡大学/長岡RC)

「障がい者が住みやすい社会は、全ての人にとって住みやすい社会になる」というモットーの下、ウランバートル市における障がい者の社会参加促進やモンゴル国内における障がい者就労支援制度構築を目指すNGOを2025年に設立。



スリランカ

Sri Lanka

P.H.P. デシルワ さん

スリランカ日本人会理事

(1981-84/上智大学大学院/東京西北RC)

いすゞ自動車購買部長を経てスリランカに帰国。スリランカ日本人会理事・渉外部部長および日本スリランカ友好協会理事を務める。平成29年在外公館長表彰受賞、令和5年外務大臣表彰受賞。



チンタカ クマーラ ウィジェシンへ さん

FSGカレッジリーグ 国際事業推進課
国際医療看護福祉大学校 臨床工学技士科教員

(1997-98/日本大学大学院/郡山安積RC)

郡山市内の医療技術系専門学校で医用工学の分野の講義をしながら、国際推進を担当。2011-23年第2530地区米山学友会会長。福島グローバルRC創立会員。スリランカ米山学友会を設立し、現在顧問を務める。



ダシルワ プブドウ さん

米みらい株式会社(YOMIRAI INC.) 代表取締役

(2007-09/室蘭工業大学大学院/室蘭北RC)

南魚沼市の豊かな自然に魅了され国籍、宗教などを越えた絆を育むコミュニティづくりを推進。空き家を活用した「HOME雪国」の開設など、地域活性化を進めている。2021-24年度スリランカ米山学友会会長。



スチッタ グナセカラ さん

株式会社ONEKI 代表取締役/スリランカ・別府日本語学校 校長

(2010-11/別府大学大学院/別府RC)

母国で「スリランカ・別府日本語学校」を設立し、多数の学生が日本留学を実現。米山奨学金合格者を輩出した。また、スリランカ進出企業支援や特定技能実習生などの人材紹介を行う株式会社ONEKIを設立し代表を務める。第2代よねやま親善大使。



ダクシカ ノーニス さん

Global Skills Development Campus日本語教育学科長

(1989-91/帯広大谷短期大学/帯広西RC)

帯広市役所国際交流課に勤務後帰国。日立物流アパナビ駐在事務所秘書、ブリティッシュ・スクール・コロンボ日本語教師を経て現職。日本語を教えながら、特定技能生(SSW)を日本に送り出している。



ピーター フェルナンドプレ さん

株式会社ベレーナ スリランカ事務所 顧問

(1997-98/九州大学大学院/福岡RC)

公認会計士・税理士として、スリランカにおける日系企業の設立・財務コンサルティングに従事。また、所属事務所の顧問として現地のホテル事業をサポートしている。スリランカ米山学友会監事。



エルウィティガラ サンギーター ニローシャニー さん

カナダ・オンタリオ州 ピール地方公務員

(2007-08/横浜市立大学大学院/横浜金沢東RC)

在学中に会計学および国際財務報告基準に関する研究を行い、現在はカナダのオンタリオ州ピール地方政府で財務戦略の立案を担当している。オンタリオ公認会計士協会所属。



ウィ チー キョン さん

Budding Bean Limited Executive Director
マレーシア元留日学生協会(JAGAM) 会長

(1985-87/専修大学/藤沢RC)

アジアの子ども向け英語教授法・教材を開発しアジア各国でライセンス販売を手掛ける。四段階言語学習進捗法を考案。2024年にマレーシアで最も影響力のある50人(教育者賞)に選出。Puchong Centennial RC創立会員。



陸 漢宇 さん

徳島国際観光 物産交流特使

(1990-92/広島大学/広島RC)

日本の自治体と協力し、地域の魅力発見に取り組む。マレーシア元留日学生協会(JAGAM)に入り、ジョホールバルの国内最大級イベント「盆踊り大会」に立ち上げから携わる。2023年度よりマレーシア米山学友会副会長。



戴 利明 さん

アジア開発銀行 プロジェクト管理部主任

(1996-98/山口大学/山口中央RC)

アジア諸国政府に対する経済および気候変動政策提言に加え、気候インフラ建設への融資を行う。教育基金を設立し、貧困の子供たちの教育や食料支援といった活動、世界各国での講演活動などを行う。



黄 麗容 さん

First Penguin Sdn. Bhd. Founder, Principal Trainer & Consultant

(2001-04/横浜国立大学大学院/横浜泉RC)

アジア各国でサステナビリティ経営による企業価値向上やグローバル人材育成の研修を行い、若手リーダーの育成に尽力。東証プライム上場企業2社の社外取締役、マレーシア米山学友会初代会長。



陳 永山 さん

住友商事マレーシア 非鉄・資源部副部長

(1994-96/亜細亜大学/東京国分寺RC)

住友商事マレーシアで勤務の傍ら、マレーシア米山学友会の教育担当として、母国の学生に日本留学に関する説明会を開催する他、仏教系国際学校の生徒を引率し日本の中学生との交流事業も行っている。



黄 建榮 さん

ICA40 Sdn Bhd 創設者 チーフサイエンティスト

(1998-2000/室蘭工業大学大学院/室蘭東RC)

ESGおよびグリーン生産方式に基づくソリューションを提供。製造業におけるデジタル化を推進するインダストリー4.0の実現に向け尽力。2024年度マレーシア米山学友会会長。



キュー イー ホン さん

酪農学園大学非常勤講師

(2016-17/酪農学園大学大学院/岩見沢東RC)

地球環境と生物多様性の保全のため、地理情報システム(GIS)の活用を教える傍ら、ASEAN-Japan Young Environmental Leaders Networkのメンバーとして、アジアの若い人材育成に取り組む。2021-24年マレーシア米山学友会幹事。



ベトナム南

Vietnam south

フィン ティ ミーハン さん

TAM HANH NHAT トレーディング輸出入有限会社 代表取締役
(2001-02/金沢大学/金沢みなとRC)

2012年、ホーチミン市に貿易会社を設立。輸出入業を展開する傍ら、日本企業のベトナム進出を多方面から支援し、現地パートナーとの連携強化にも尽力。2024年度からベトナム南米山学友会副会長を務める。



レティ フン ディエン さん

日本語学校HINATA JAPANESE CENTER 代表取締役
(2008-09/横浜国立大学大学院/横浜戸塚東RC)

高い水準の日本語教育と日本留学のコンサルタントを提供する日本語学校を運営。学生や日系企業で働くベトナム人に加え、日本人駐在員に対してもベトナム語教育を行い、日越経済の架け橋となる人材の育成に尽力。



ゴゴク クーン さん

新世代株式会社 / らくらく日本語センター 代表取締役
(2013-14/長岡技術科学大学大学院/栃尾RC)

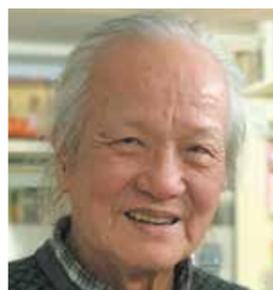
日本語教育センターを設立し、日本への留学支援および技能実習生・エンジニア・特定技能制度を通じた人材紹介事業に従事。年間100名以上の若者を日本へ送り出し、学びや仕事を通じて成長する機会を提供している。



フィン ムイ さん

公益社団法人CISVベトナム委員長 / ME小学校 教育顧問役
(1973-74/東京大学大学院/東京品川中央RC)

1994年、ベトナム初の私立大学、タンロン大学の初代学長となる。2000年にはタンロン技術学院の院長として、学生への日本語教育やITおよびCAD技術教育を通じた人材育成に尽力。現在も子供たちへの教育に情熱を注ぐ。



タイ ヴァンナム さん

HUTECH大学 准教授 / 同大学大学院研究所 所長
(2007-11/大阪大学/千里RC)

海外応募者対象奨学金の前身「現地採用ロータリー米山記念奨学金」の第1号奨学生。大阪大学で工学博士号を取得。水質分析、大気汚染や騒音測定、コンサルタント業務も手がける。ベトナム南米山学友会会長。



チャン ミンフエ さん

三井住友銀行(ベトナム) アジア・大洋州営業第一部 上席部長代理
(2008-10/神戸大学大学院/神戸東RC)

帰国後、専攻と日本語力を生かし、ベトナムの金融業界で活躍。投資銀行業務や法人営業部を経て現在の役職に至る。ベトナム南米山学友会の前身である、学友クラブの創設メンバーであり、学友会となった今も役員兼会計を担う。



ヴァウ テウイ リン さん

Lien Viet Japan 副社長兼取締役
(2017-18/十文字学園女子大学大学院/和光RC)

日越間で水産物の輸出入を行うLien Viet Japanの副社長兼取締役を務め、新商品の開発に関わっている。「フグ博士」として知られ、食品科学と栄養学の専門家として日本の高度な技術を応用した水産加工の普及に尽力している。



タイ

Thailand

ファカオ マハンノップ さん

泰日工業大学工学部自動車工学科 学科長・講師
(2014-16/東北大学大学院/仙台西RC)

日本とタイの技術連携の一環として日本の大学や政府の支援を受け、DX人材の育成やGXに関する特別講座をタイの日系企業と共に実施。現在は、日本の自動車メーカーと連携し、自動車工学分野における優れたエンジニアの育成に尽力している。



ナレス ペチニン さん

元タイ国海軍司令本部付 海軍大将
(1994-96/武蔵工業大学大学院/越谷RC)

海軍士官学校や海軍幕僚学校など海軍の教育関係業務に従事。海軍士官学校の講師、准教授等の他、海軍幕僚幹部学校の教育部部長、司令官を歴任。海軍司令部付高等幹部、海軍大将に昇進し、2025年3月に退役。2024年度タイ米山学友会会長。



アイラダー カムピラー さん

Ailada panich代表
(2017-18/東洋大学大学院/東京本郷RC)

タイのブランド米を取り扱う商店を運営。大学卒業後、タイへ戻り、寺院の小学校で日本語教育に携わる。コロナ禍では学友会と共同で小学校に支援品を寄贈。その後も学校のリノベーションなど、子どもたちへの支援活動を積極的に行う。



アルチャナ シュレスタ ジョシ さん

特定非営利活動法人アムダ ネパール・インド事業担当
(2001-02/鈴鹿国際大学/鈴鹿西RC)

母国で女性の自立支援センターを設立。2006年に第3292地区ラリトプールRC入会。2012年に再来日し、岡山県立大学で看護学博士号を取得。現在は教育機関で国際看護・災害看護や災害支援の教育・研究に携わる。社会学の視点から看護ケアの探求にも取り組む。



サントス ヨンジャン さん

清水建設株式会社 ビラナガル市 給水改善プロジェクト建設管理者
(2015-17/信州大学大学院/長野西RC)

日本の大手ゼネコンで国内外のインフラ施工に従事。現在は母国でJICAプロジェクトの建設管理者として現場を統括している。2015年のネパール大地震後、長野県の支援を受け、被災地に多目的体育館「Sakura Hall」を建設に尽力。第3292地区Himalaya Patan RC会員。



サビナ ビスンケ ラムテル さん

元マンダン・デウプール市議会議員
(2018-19/公益財団法人PHD協会/加古川中央RC)

ダリット(不可触民)出身。日本での学びやコロナ禍の食糧支援が評価され、ネパール最大政党から出馬要請を受ける。2022年の統一地方選で当選、市議会議員としてダリット女性の地位向上に取り組む。今後も人権啓発や識字教育などを通じて支援を目指す。



ミャンマー

Myanmar

チュウチュウ さん

Myanmar Young Entrepreneur Association 役員
Myanmar Women Entrepreneurs Network (Mandalay) 役員

(2006-07/大阪産業大学/大阪東RC)

Favourite Focus Co., Ltd.を起業し国内外から商品を輸入・販売。JICA主催の中小企業家のための日本式経営授業に通訳として参加。現在はマンダレーを拠点にさまざまな社会貢献活動を行っている。ミャンマー米山学友会創立会員。



タンシンナイン さん

Kakehashi Myanmar Co., Ltd./Kyoshin JETC Co., Ltd. 社長
ミャンマー元日本留学協会 事務局長

(2003-05/電気通信大学大学院/東京調布RC)

帰国後、語学学校を設立。携帯電話産業や不動産・資産運用や人材紹介などの事業を次々に立ち上げた。日本へミャンマーの留学生と労働人材を多数送り出す。東京米山ロータリーエクラブ創立会員。ミャンマー米山学友会創立会長。



モーママ さん

PHDミャンマー 代表

(2013-14/公益財団法人PHD協会/川西RC)

マンダレー南東部で村人の栄養状態の改善とゴミ問題に取り組み、週1回、トラックで自らゴミを回収する。25年3月のミャンマー地震後は、周辺地域の被災者に食料や義援金を届けるなど、精力的に活動している。



オム・ロムニー さん

カンボジア王国教育・青年・スポーツ省 国務長官/カンボジア工科大学 名誉理事

(2000-02/北見工業大学大学院/北見東RC)

カンボジアの教育、青少年、スポーツの発展に尽力。カンボジア工科大学名誉理事として技術的専門知識を指導。2018年チートプカ国家功労大勲章、2021年JICA理事長賞、2024年旭日小綬章など、名誉ある賞を多数受賞。



チョウ ペンセイ さん

カンボジア外務省 東アジア局ジャパンデスク担当官

(2012-13/神戸市外国語大学/神戸垂水RC)

カンボジア外務省東アジア局ジャパンデスク担当官として、日本在住邦人の安否確認や安全確保、情報収集を担当。給水率4割未満の地域で、JICAのODAによる上水道拡張計画プロジェクトを遂行。



サ ソチア さん

国土管理・都市計画・建設省 ASEAN及び国際関係事務所 勤務

(2009-11/宇都宮大学大学院/宇都宮東RC)

在カンボジア日本国大使館勤務を経て、同国のパニャスタラ大学 日本語・ビジネス研修センター所長を歴任。現在、同国の国土管理・都市計画・建設省に勤めながら、王立法律経済大学大学院で教鞭を執っている。



バングラデシュ

Bangladesh

ハイダル モハメド ズルフィカル さん

特定非営利活動法人KETOY.JP 理事長
バングラデシュ雑貨とカレーの店 ハイダル 経営

(2003-05/東海大学/平塚西RC)

バングラデシュの無医村に病院を建設する夢を実現するため、NPO法人を立ち上げてフェアトレードによる雑貨の販売、福岡でカレー店を始める。2017年に病院を開院し、日本と母国で活躍。



カビール ムハムドゥル さん

秋田大学大学院理工学研究科 准教授

(1998-2000/秋田大学/秋田北RC)

電気電子工学の応用分野において持続可能な社会の実現を目指し、藻類のアオコを用いた微生物燃料電池の開発や排水処理システム、動電処理によるセシウム汚染土壌の浄化などを研究している。第2540地区米山学友会会長。



MD・アノア・フサイン・ミアン さん

バングラデシュ公衆衛生協会 副会長
バングラデシュ医師財団 顧問

(2006-08/東京医科歯科大学大学院/東京王子RC)

博士号取得後、バングラデシュに帰国し、未来の歯科医師養成に尽力。医療ボランティア活動にも精力的に取り組み、地方に出向いて貧しい人々に医科・歯科の無料診療を行う医療キャンプを開催。



ラスマナ センダリウス さん

Pt. Panca Kusuma Raya専務取締役

(1992-94/長岡技術科学大学/長岡西RC)

卒業後、東京エレクトロン株式会社に入社。2005年に三洋電機インドネシアで勤務後、Pt. Panca Kusuma Raya専務取締役に就任。第3410地区ジャカルタメンテンRC会員、2022-23年度会長。2025-26年度同地区ガバナーエレクト。



アギー ラミダ プットリ さん

助産師

(2023-24/公益財団法人PHD協会/篠山RC)

インドネシア現役助産師として来日し、奨学期間中に多くの助産施設で研修を受け、帰国。現在は保健所や地域の診療所で勤務しながら、妊婦のみならず母子の健康維持のための活動を行っている。



ステファヌス ハルヨ アスト チョンドロ さん

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構J-PARCセンター研究主幹

(1995-97/茨城大学大学院/日立南RC)

J-PARCの中性子実験装置「匠」の装置責任者。車などの機械部品の内部応力状態の調査、先端鉄鋼や金属材料の変形機構の調査などで成果を挙げている。2024年、International Magnesium Science & Technology AwardよりExcellent Paper of the Yearを受賞。



その他の
国々

Other Countries

ウスビ サコ さん

元京都清華大学 学長

マリ 1992-94 / 京都大学大学院 / 京都北RC

2018年から2022年まで京都精華大学学長、現在は同大学全学研究機構情報館長を務める。その他、2025年関西・大阪万博協会副会長、東京都立大学法人理事など、多数の役職を持つ。



ルチ ネタニ さん

Naithani-Today Software Systems Pvt. Ltd代表 同時・逐次通訳者

インド 1993-95 / 熊本大学大学院 / 熊本RC

モディ首相をはじめ政府高官の会談やG20、G7、BRICS、QUADなどの日英ヒンディー語通訳者として活躍。また、民間企業における通訳業務に加え、日本・インド・アメリカなど各国企業のグローバル展開支援にも携わる。



トゥポウ シアオシコヘレティ モケニ さん

KKコンサル 代表

トンガ 2000-02 / 近畿大学 / 八尾RC

母国でコンサルタント会社を設立。第9920地区トンガのヌクアロファRCの会員として、2018年から福井東、福井北、福井フェニックスRCと連携し、トンガ国内で医療、教育分野において支援活動を行っている。



ホサム ダルウィッシュ さん

JETROアジア経済研究所 新領域研究センター グローバル研究グループ研究員

シリア 2005-06 / 東京外国語大学大学院 / 東京府中RC

学術博士。エジプト政治を中心とする中東・北アフリカの現代政治、地政学、比較政治、国際関係論を専門とする。現在は、ナイル川流域における水資源の共有をテーマに、国際関係学の視点で研究・情報発信に取り組む。

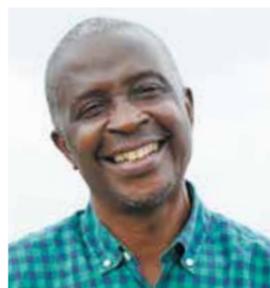


スチュアート マクブヤ センパラ さん

NGO ウガンダ意識向上協会 (CUFI) 代表

ウガンダ 2001-02 / アジア学院 / 鹿沼RC

アジア学院(栃木県)で農村指導について学び帰国。紛争やエイズで親を失った子どもの支援、貧困集落の教育、高齢者の生活支援や農園運営に尽力。国民が食料に困ることなく、自立した生活を送るための農場を作ることを夢としている。



ヌイ ワンマニ チャンニャケム さん

株式会社マージオン 代表取締役

ラオス 2006-08 / 電気通信大学大学院 / 東京府中RC

帰国後、株式会社マージオンを設立し、ラオスの高品質コーヒーブランド「KAFEPACOFFEE」を発表。カフェを運営しながら、日本とラオスに関するアドバイザー業務、若者教育支援のコンサルティングを手掛ける。



パブロ マヌエル プーガフロレス さん

国内メーカー勤務

メキシコ 2006-08 / 国際基督教大学大学院 / 東京三鷹RC

第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、DEIを意識したクラブ運営に取り組む。また、地区内クラブの国際奉仕の実現に尽力し、メキシコの公立学校へ電子黒板の寄贈を実現。第6代よねやま親善大使。



メリッサ ゼムラ さん

フランス国立宇宙研究センター エンジニア

フランス 2014-15 / 九州大学大学院 / 宗像RC

フランス国立宇宙研究センターの一員として、ロケット発射基地フランス領ギアナ宇宙センターに勤務。エンジニアとして、「アリアン5」「ソユーズ」「ヴェガ」のロケット打ち上げを担当。



サウレ ジョルダヤコヴァ さん

カザフスタン国営企業KazMunaiGas社 代替エネルギー部 部長代理・水素技術研究室 室長

カザフスタン 2015-17 / 東海大学大学院 / 伊勢原RC

水素エネルギー専門家として、カザフスタン初の水素研究センター設立や、国家戦略に参画。持続可能で公平なエネルギー社会を目指し、人々が再生可能エネルギー分野で活躍できる環境づくりに尽力。2024年、「世界の水素分野で活躍する女性50人」に選出。



マリエッタ ニョンブアンラ ゴンルドブ さん

Agro Hikari 代表 / パラコウ大学農学部 非常勤講師兼研究者

ベナン 2017-19 / 山形大学大学院 / 鶴岡RC

農学博士。農業に関するサービス・コミュニケーションの研修を行う「Agro Hikari(アグロ・ヒカリ)」を起業。ソーシャルメディアを通じて、女性の農業活動や、ビジネス支援にも取り組む。



アクエテビ アドゥアヨム アヘゴ さん

株式会社ドリーム・ジーピー 研究員

トーゴ 2014-15 / 新潟医療福祉大学大学院 / 新発田城南RC

博士課程で義肢装具の研究を行い、ガーナヘサテライトオフィスを開業。日本企業から提供された部品を現地で再利用し、義足製作に取り組む。アフリカの学生に義肢装具学を教え、人材育成にも力を注ぐ。University of Health and Allied Sciences(ガーナ)講師。



コリーン クリスティナ シュムコー さん

東京藝術大学、東京音楽学校、立教大学、玉川大学 講師 東京藝術大学 専門研究員

アメリカ合衆国 2014-16 / 東京藝術大学大学院 / 東京葛飾RC

地域に眠った伝統音楽の創造と保存を研究。秋田県鹿角市の花輪ばやし(三味線)を主な対象とした研究成果はメディアにも紹介された。また、千葉県松戸市万作踊り保存会では新曲を発表するなど、実践的にも活動中。



カロリーナ フォルタン さん

引退女流棋士(初段)

ポーランド 2017-18 / 山梨学院大学大学院 / 甲府東RC

2017年日本国外出身者として初の女流棋士に認定され、引退までに女流初段に昇段。現在は動画配信やイベント運営を通じて将棋の普及に注力。英語圏のオンライン将棋コミュニティも運営し、国際的な交流と学びの場を提供している。



グルザン トリモバ さん

アル・ファラビ・カザフ国立大学臨床科 博士・上級講師 市立リウマチセンター リウマチ専門医

カザフスタン 2017-20 / 産業医科大学大学院 / 遠賀RC

リウマチ専門医として、カザフスタン教育科学省のプロジェクトにおいて、COVID-19がリウマチ性疾患に与える影響の研究責任者を務める。2025年からはアジア太平洋リウマチ協会連盟のプロジェクトで、全身性エリテマトーデスの研究責任者を務める。



栄えある受章・受賞おめでとうございます！

令和6年度 旭日重光章 受章

李嘉進 さん (台湾/1989-90/筑波大学大学院/那珂湊RC)

令和6年秋の外国人叙勲で旭日重光章を受章された李嘉進さんは、台湾立法院の元議員で、台湾政府経済部、立法委員、国家安全会議諮問委員や馬英九総統特別補佐官などを歴任し、2013年～2016年5月まで台湾の対日窓口機関である亜東関係協会(現 台湾日本関係協会)の会長を務められました。現在は、国立台北大学にて教鞭を執っていらっしゃいます。

李さんは、「当時は那珂湊RCの皆さまから温かいご支援とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。ここでの経験は、私の価値観と人生観に大きな影響を与え、現在までの歩みを支える大きな原動力となりました。特に、

日台関係の深化と交流促進において、自らの力を少しでも役立てることができたことは、何よりの喜びであり誇りであります。この栄誉を賜ることができましたのも、若き日に米山奨学金を通じて得た貴重な経験と、ロータリーの皆さまの温かいご支援があつてこそと、あらためて深く感謝の念を抱いております。米山記念奨学会ならびにロータリークラブの皆さまのご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます」と、感謝の言葉を寄せてくれました。



日本台湾交流協会台北事務所にて開かれた
旭日重光章の伝達式にて

令和5年度 旭日中綬章 受章

林曼麗 さん (台湾/1981-83, 1996/東京大学大学院/東京保谷RC)

令和5年秋の外国人叙勲で旭日中綬章を受章された林曼麗さんは、東京大学で博士号を取得。これまでに台北市立美術館館長、国立故宮博物院院長、財団法人国家文化芸術基金合理事長などを歴任し、現在は国立台北教育大学名誉教授、北師美術館創設者・総合プロデューサーとして活動されています。台湾美術史の研究ならびにその教育活動、企業とのタイアップ事業のディレクションなどにも長年携わっており、日台間の文化・学術交流および相互

理解の促進や、台湾美術史、現代アート、美術教育などの分野に多大な貢献をされています。2018年7月には、日本との友好親善関係増進に貢献した個人や団体に与える外務大臣表彰を受賞されています。

林さんは、「40年間の仕事を通じて世界各国を訪れ、多くの文化交流を行ってきましたが、日本は私にとって今でも特別です。長年にわたる恩師や先輩、同級生、友人たちとのつながりは、時間や距離によって疎遠になることはなく、むしろ一層深まり、さらに広がり続けています。文化交流は決して一人の志だけで成し遂げられるものではありません。もし何らかの成果があり、それが評価されるとすれば、それは政府や各機関、民間企業を含む多くの方々の協働による努力の賜物です。何よりも、私が最も重要な学術的基盤を築く時期に、ロータリー米山記念奨学会から温かいご支援とご厚情をいただいたことに、心から深く感謝申し上げます」とメッセージを寄せてくれました。



日本台湾交流協会台北事務所にて開かれた
旭日中綬章の伝達式にて

ロータリー人道奉仕功労賞 受賞

ジギャンクマルタパ さん (ネパール/2008-09/横浜国立大学大学院/横浜たまRC)

ネパール出身の米山学友、ジギャン・クマル・タパさんが、「ロータリー人道奉仕功労賞」を受賞されました。この賞は、ロータリー会員のパートナーと配偶者を含め、ロータリーを通じて模範的な人道奉仕を行ったロータリー会員以外の人を表彰するものです。タパさんは、2024年元日に発生した能登半島地震を受け、日本在住のネパール人の仲間とともに、ネパール料理の炊き出しや洋式簡易トイレの提供といった支援活動を行いました。現地の自衛隊と協力し、心も身体も温まる支援を実施したことで、今回の受賞に至りました。



タパさんは「大変光栄に思います。2015年のネパール地震の際に、日本の皆さまから受けた温かい支援への恩返しとして、今度は私たちの番だと強く感じていました。厳しい寒さの中でも、被災された方々に少しでも寄り添いたいという思いで現場に向かい、仲間たちと共に支援を届けられたことを誇りに思います。世界各地で災害が続いており、防災・減災の大切さをさらに広め、今後も人道支援の輪を広げていきたいと思っています」と、メッセージを寄せてくれました。



雪が残る輪島市内で自衛隊と協力し、炊き出しを実施

令和6年	旭日重光章	李嘉進さん	台湾/1989-90/筑波大学大学院/那珂湊RC
令和5年	旭日中綬章	林曼麗さん	台湾/1981-83, 1996/東京大学大学院/東京保谷RC
令和5年	紺綬褒章	周順圭さん	中国/1962-64, 1964-65, 1966-68/東京工業大学, 東京大学大学院/東京西RC, 東京世田谷RC
令和5年	旭日双光章	頼明珠さん	台湾/1977-78/千葉大学大学院/松戸RC
令和2年	旭日双光章	劉耀祖さん	台湾/1967-69/早稲田大学大学院/東京西RC
令和2年	旭日中綬章	謝牧謙さん	台湾/1965-67, 1989/東北大学大学院/仙台RC, 大洗RC
令和2年	旭日双光章	インタヴォン チャンタソンさん	ラオス/1983-86/東京都立大学大学院/東京銀座RC
平成30年	旭日中綬章	呂博東さん	韓国/1978-80/筑波大学大学院/水戸RC
平成29年	旭日小綬章	ジャンチブ ガルバドラツハさん	モンゴル/1998-99/山形大学大学院/山形北RC
平成29年	旭日小綬章	朴明欽さん	韓国/1983-85/同志社大学大学院/京都東山RC
平成27年	旭日小綬章	グエントリ ユンさん	ベトナム/1976-79/筑波大学大学院/土浦RC
平成26年	旭日小綬章	アウン チョウさん	ミャンマー/1962-66/東京大学大学院/東京北RC, 東京南RC
平成26年	旭日中綬章	廖一久さん	台湾/1965-68/東京大学大学院/田原RC
平成18年	旭日中綬章	李賢起さん	韓国/1970-72/筑波大学大学院/東京世田谷RC
平成18年	旭日中綬章	金榮作さん	韓国/1968-70, 1970-71/東京大学大学院/東京葛飾RC, 東京神田RC
平成18年	旭日小綬章	モヒカ ベアトリスさん	フィリピン/1980-81/筑波大学大学院/竜ヶ崎RC) RC
平成15年	旭日中綬章	フェルナンド チャンドラシリさん	スリランカ/1982-84/東北大学大学院/仙台西RC

これまでに学友から1億円超の寄付が寄せられました！

米山記念奨学事業は、ロータリー会員からの寄付によって支えられていますが、近年、学友からの寄付も増えています。「お世話になった恩返しに」「後輩を応援するために」との思いの込められた学友からの寄付金は、総額1億3千万円(2025年1月現在)にのぼります。

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付には、表彰制度があります。
個人特別寄付の累計が10万円に達すると、感謝状と共に、第1回米山功労者の称号が贈られます。以降、累計20万～90万円は「米山功労者マルチプル」、累計100万円に達すると、「米山功労者メジャードナー」と称号が変わります。

寄付を続けてくださっている学友の「思いと願い」

周 順圭 さん [中国/1962-64 東京西RC、1964-65&66-68東京世田谷RC/東京工業大学・東京大学]

2022年に周順圭さんが当財団へ50万ドルの寄付をしてくださいました。上海で育ち、日本で大学教育を受け、アメリカで事業を行ってきた周さん。当財団事務局を訪問され、まだカウンセラー制度が無い時代だった米山奨学生時代を振り返り、クラブの方々が良くてくれ、本当に助かったそうです。この寄付を受けて、当財団から紺綬褒章を申請。これが正式に認められ、2023年8月26日付で日本国政府から紺綬褒章を授与されました。



周さんは「米山奨学金には本当に助けられました。そのお返しは当然のことだと思っていましたので、このような賞をいただくとは思っておらず、とても驚きました。世間では後期高齢者といわれる87歳になりましたが、私は常に後期貢献者でありたいと思っています」と、常に感謝の気持ちを言葉にしていました。米山奨学生・学友らに向けては、「奨学金としていただいたお金は大切に使い、たくさん勉強してほしいです。卒業後は、その力を社会に還元することで、社会に貢献してほしいです」と、後輩たちにエールを送られています。



そのほかの学友や学友会などからもご寄付をいただきました。ご支援ありがとうございました。

清野 允中 さん [台湾(現在は日本国籍を取得)/1990-92/名古屋工業大学大学院/江南RC]

2009年、仕事で駐在されていたシンガポールから、「第2590地区(神奈川県)で毎月1万円ずつ寄付をしていた米山学友を見習って、自分も米山への寄付を始めたい」と連絡をくださった清野さん。実際に、その年の8月からほぼ毎月、1万円の寄付を続けてくださっており、その累計は150万円を超えています(2025年1月現在)。



「2007年から昨年夏まで、アジア中心に四回の海外駐在をしてきました。オフィスを置く都会での仕事の合間を縫って現地の奥へ奥へと足を運び、さまざまな文化を見てきました。小さな積み重ねですが、日本の未来のために、と思っています」と、メッセージを送っていただきました。

千葉 鴻儀 さん [中国/1990-91/熊本学園大学大学院/熊本グリーンRC]

千葉さんは中国の大手金融機関や日本の大手総合商社、新華ファイナンス日本現地法人代表取締役などを経て、2004年に株式会社エコマテリアルを設立、代表取締役に就任されました。2021年12月に初めて200万円を当財団に寄付いただき、以降毎年寄付を続け、累計額は600万円を超えています(2025年1月現在)。



現在、東京赤坂RCに所属する千葉さんは、「中国のことわざに、『一滴のお水の御恩に湧き泉で報いるべし』というものがあります。35年前に米山奨学生として奨学金を頂いた私として、米山奨学会に寄付するというのは極当たり前のことだと思っています。東京赤坂ロータリークラブの一員として、ロータリー会員の善意をこれからも継続に続けていきたいと決意を新たにしております」と、語られています。

学友からの寄付 (2025年1月末の実績)

学友・学友会から奨学会への寄付累計

131,299,431円

出身国・地域別

① 中国	91,273,767円	61人
② 台湾	31,226,001円	47人
③ 韓国	3,513,000円	23人

義援金

東日本大震災被災地区への寄付

約7,600,000円

熱海土砂災害義援金

約1,500,000円

令和6年能登半島地震義援金

約3,000,000円

よねやま親善大使が大活躍！

よねやま親善大使は、ロータリーや一般社会で米山記念奨学事業のPRをし、理解を深める活動をしています。これまでに14人のよねやま親善大使が全国の地区大会や米山セミナーでスピーチし、現地のロータリー会員や米山学友・奨学生と交流を行いました。2025年7月から、第6代よねやま親善大使の3人が活動します。各地区のイベントにぜひお呼びください。



詳細はこちら



ホームカミング制度で多数の学友が里帰り！

ホームカミング制度は、国内外で活躍する学友に里帰りしてもらい、旧交を温めるとともに、架け橋として活躍する姿、スピーチを通じて、多くのロータリー会員に米山奨学事業の意義を広く伝えるための制度として2008年度に設立されました。地区が誇る学友を1人でも多く掘り起こし、地区内に米山奨学事業の意義を伝えるためにご活用ください。



詳細はこちら



つくばに1,000人以上が集結！「再会 in 関東」

2023年8月、茨城県つくば市で開催された第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」(主催:関東10地区米山学友会)に世界各地から米山学友が大集合しました！事前参加登録者数はこれまでで最多の1,000人以上となり、世界38の国・地域出身の米山学友と現役奨学生やロータリー会員らが駆け付け、会場は超満員に。学友同士、そして、学友とロータリー会員が久々の再会を喜び、あらためて絆を深め、参加者の心に残る素晴らしい機会となりました。

前夜祭 8月4日

4日夜には「再会 in 関東」初日を直前に控え、ホテル日航つくばにて前夜祭が開催。350人を超える参加者が集う中、各地区や国籍ごとの記念撮影、曲を流してダンスタイムなど、大盛り上がり。最後は、全員で手をつなぎ、ロータリーソング「手に手つないで」の大合唱でお開きとなりました。



全員で手をつなぎ、ロータリーソング「手に手つないで」の大合唱

ポスター発表&米山フェスティバル 8月5日午前

5日午前にポスター発表が開催。国内外28の学友会が出展し、各学友会の個性溢れるデザインで、実施した奉仕活動や親睦行事を紹介しました。会場の中心には、「米山フェスティバル」と題し、交流スペースを設置。各国の学友たちが持ち寄ったお菓子が配られ、あちこちで旧友との再会、新たな出会いを喜ぶ光景が広がりました。



ポスター発表で学友会の奉仕活動や親睦行事を紹介



百人合唱祭で「米山の絆」を合唱



各国の国旗とともに入場し本大会開催

本大会 & 晩餐会 8月5日午後

午後から本大会式典がスタート。2階席まで埋め尽くされた会場に実行委員会メンバーと各学友会会長が各国の国旗を持って登場し、まさに米山一色に。パネルディスカッションや百人合唱祭など、米山学友とロータリー会員によるプログラムが開催され、会場が一体となりました。その後の晩餐会では、ベトナムやミャンマーなど、学友によるパフォーマンスが次々に行われ、民族舞踊やダンス、演奏や合唱を披露。熱狂と歓声、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。



世界中の米山学友が集結



大盛況の晩餐会①



大盛況の晩餐会③

文化体験バスツアー 8月6日

6日は「世界最大級のサイエンスシティの文化体験の機会を」と、開催地であるつくば市をめぐるバスツアーが開催。つくば宇宙センター(JAXA)、地図と測量の科学館、筑波実験植物園、産業技術総合研究所「サイエンス・スクエアつくば」の4か所を順に巡り、日本の科学が誇る最新技術や歴史を間近で体感。約400人が参加しました。



大盛況の晩餐会②



バスツアーでJAXAを見学

次回、第4回米山学友による世界大会は2026年12月、台湾にて開催を予定しています。ぜひご参加ください！

この「再会 in 関東」の様子をまとめたビデオをYouTubeページで公開しています。



YouTubeページはこちら

芸術を担う学友たち

～文化芸術の表現者として活躍する学友をご紹介します～

油画

チョウエンエン
張媛媛 さん (中国/2018-19年/東京藝術大学大学院/東京江北RC)

張媛媛さんは、横浜国立大学大学院(赤木研究室)で古典絵画技法を学んだ後、東京藝術大学大学院(油画技法材料研究室)を修了。溶かした蜜蝋を亜麻布に染み込ませる、古代ヨーロッパの技法「エンカウステーク」を用いて制作を行っています。東京藝術大学の卒業・修了作品展においてメトロ文化財団賞、第



37回上野の森美術館大賞展で大賞を受賞。2020年に初の個展「縁起もの、円来ものづくし」(銀座 ギャラリー上田)を開催するなど、多くの個展、グループ展を開催しています。



笛子・簫奏者

スンシャオモン
孫瀟夢 さん (中国/2015-17年/東京藝術大学大学院/東京羽田RC)

孫瀟夢さんは、東京藝術大学博士課程を修了。能管や篠笛など日本の伝統楽器にも精通しており、中国人として初めて日本音楽集團のメンバーとなりました。元「小女子十二樂坊」の一員として長野冬季五輪、上海FIFA女子ワールドカップ等で演奏を経験しています。「おんがく交差点(BSテレ東)」などのメディア出演をはじめ、アニメ「中華一番」中国版のテーマ曲など多数のドラマとゲームで笛子独奏を担当。その他、「華夏笛子教室」を主宰しながら多数の演奏会に出演されており、伝統音楽はもとより、現代音楽など幅広いジャンルの楽曲を演奏しています。



外交の世界で活躍する学友

～国と国の架け橋として活躍する学友をご紹介します～

駐日モンゴル国大使館 公使参事官

アルザフガイ デルゲルマー さん (モンゴル/2001-02年/専修大学大学院/川崎麻生RC)

デルゲルマーさんは、専修大学大学院人間科学研究科修士課程修了後、国際協力機構(JICA)で日本人コンサルタントと共同で保健分野の総合調査に参加し、2013年からはモンゴル赤十字社で勤務され、2016年にモンゴル国外務省 アジア太平洋専門官に就任。在大阪モンゴル総領事館 副領事、駐日モンゴル国大使館 二等書記官などを経て、現職。要人の来日の対応や、両国の関係を深めるための活動を行っており、日本とモンゴルを繋ぐ架け橋として活躍しています。



ガバナーになった学友をご紹介します

韓国

故人

リム ユンウィ
林隆義 氏

1997-98年度 RID3650
(1977-78/京都西南RC)



韓国

キョ コクブン
許國文 氏

2005-06年度 RID3490
(1975-77/徳島RC)



台湾

リン カミン
林華明 氏

2015-16年度 RID3522
(1984-86/東京世田谷RC)



インドネシア

ラスマナ センダリウス 氏

2026-27年度 RID3410ガバナー
(1992-94/長岡西RC)
*2025-26年度 ガバナーエレクト

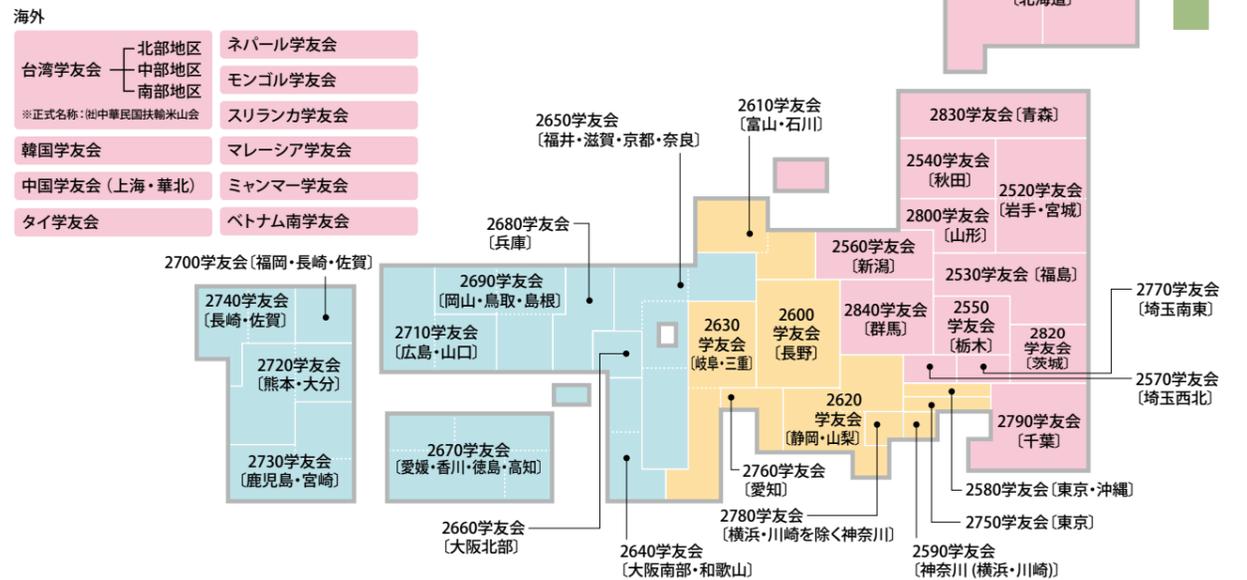


米山学友として
4人目のガバナーに!

3 米山学友会の活動

米山学友会は、元米山奨学生によって組織される同窓会組織です。現在、日本国内に33、海外に10(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー・ベトナム南くホーチミン)の計43の米山学友会があります。学友会ごとに活動内容は異なりますが、いずれの学友会も、学友同士、学友とロータリー会員が連携してさまざまな活動をしています。

米山学友会一覧



学友会が震災復興支援に尽力

令和6年能登半島地震被災地でのボランティア活動

【第2660地区(大阪北部)・第2610地区(富山県・石川県)】

2024年1月の能登半島地震の被災地で老人介護施設の清掃ボランティアを実施し、輪島教育委員会を通じて被災校へ義援金40万円を寄付しました。

そのほか、能登半島地震の義援金として国内外の学友会・個人から総額約300万円が寄せられました。

台湾米山学友会

100万円

スリランカ米山学友会

約10万円

ベトナム出身学友のグループ

約190万円



国内学友会

国内の米山学友会は、地区のロータリー会員と協力しながら、地域密着でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます



毎年恒例のリンゴ狩り【第2520地区(岩手県・宮城県)】
米山学友や奨学生・カウンセラー、家族も参加する恒例のリンゴ狩り。収穫後はBBQを楽しみます。



新年会で茶道体験【第2610地区(石川県・富山県)】
「米山新年茶会」を開催し、茶道体験で茶会の趣を体験。新年会では今年の抱負を語り合いました。



ベトナムの子もたちを笑顔に【第2620地区(静岡県・山梨県)】
ベトナム教育支援プロジェクトを始動し、現地の小・中学校へ毛布の提供と医療支援を実施しました。



学友会創立40周年式典開催【第2580地区(東京都・沖縄県)】
2024年に創立40周年を迎えた国内最初の学友会。祝賀会では母国の踊りや楽器演奏が披露され、喜びと感謝に包まれた、節目を祝う一日となりました。



ポリオ根絶啓発活動に参加【第2700地区(福岡県・長崎県・佐賀県)】
ロータリーが全世界的に取り組むポリオ根絶の啓発活動に協力し、地区大会で募金活動を行いました。



母国の料理自慢【第2740地区(長崎県・佐賀県)】
ロータリー会員への感謝を込めて、奨学生・学友が母国の料理をふるまう料理大会を開催しました。

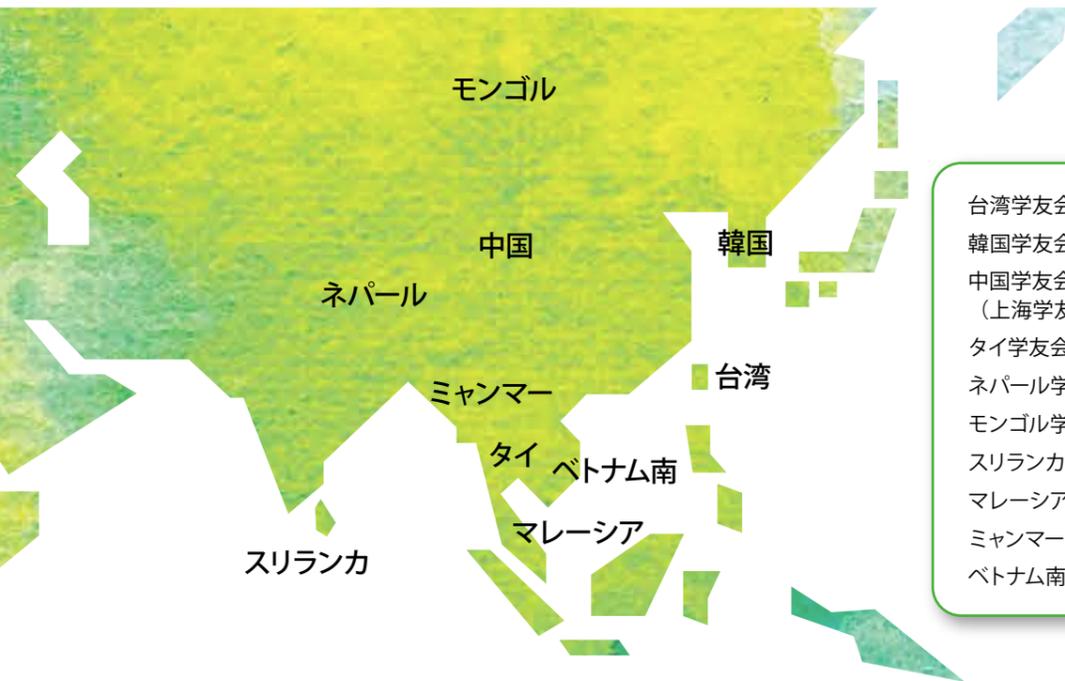


食と文化の奉仕活動【第2750地区(東京都)】
ひとり親家庭100世帯分の食料と様々な国のレシピをまとめた冊子を社会福祉協議会へ寄付しました。



大盛況のBBQ大会【第2790地区(千葉県)】
米山学友や奨学生、ロータリー会員ら総勢140人が集い、青空の下BBQ大会で交流を深めました。

海外学友会 帰国した米山学友のネットワークが拡大



台湾学友会	1983年1月設立
韓国学友会	1989年6月設立
中国学友会	2009年3月設立 (上海学友会は2002年に結成)
タイ学友会	2012年3月設立
ネパール学友会	2013年10月設立
モンゴル学友会	2014年3月設立
スリランカ学友会	2016年6月設立
マレーシア学友会	2016年9月設立
ミャンマー学友会	2017年2月設立
ベトナム南学友会	2023年5月設立

台湾米山学友会 正式名称: 社団法人 中華民國扶輪米山會

米山学友会の中で最も歴史のある学友会です。2009年から台湾の大学・大学院で学ぶ日本の若者を対象とした「日本人若手研究者奨学金」を設立。24年までに累計61人を支援しました。学友がカウンセラーとなり、日本人奨学生を物心両面で支えています。日本での災害時には会員に募金を呼びかけ、復興支援のため義援金を寄付するなど、日台親善のための幅広い活動を行っています。



日本留学を希望する台湾の若者に情報提供

韓国米山学友会

毎年、奨学期間を終えた学友の帰国歓迎会を開き、新たな学友会会員を温かく迎えています。2016年には日本人留学生支援を開始し、韓国に留学する日本人学生へ奨学金を支給。24年までに累計50人を支援しました。さらに、第16回ロータリー韓日親善会議では、米山学友会の活動を韓国のロータリー会員に紹介し、大きな関心を集めました。



毎年開いている帰国歓迎会

上海米山学友会

上海米山学友会は次世代の若者支援に力を入れています。甘肅省の小学校では2014年から10年間で約280人、雲南省の小学校では21年から4年間で約100人の子どもたちに奨学金を支給してきました。さらに、大連支部では学友が資金を出し合って農地を借り、野菜や花を育てながら、自閉症の子どもたちに自然と触れ合う機会を提供しています。教育と福祉の奉仕活動を通じ、未来を担う世代の成長を支えています。



学友手作りの農園で収穫体験をする子供たち

タイ米山学友会

2024年8月、タイ北部チェンライ県で発生した大雨・洪水の被災地を支援しました。危険を伴うため、学友が現地でボランティア活動を行うのは困難でしたが、被災地の自治体へ義援金20,000バーツを寄付し、食料や生活必需品の調達に役立ててもらいました。現地の協力者と連携し支援を行うことで、村の人々や政府関係者から感謝の声が寄せられました。



タイ学友会の支援を受け、被災地に届ける物資を準備する被災地の人々

ネパール米山学友会

2023年2月17日、学友会が設立支援したバグマティ県シンドウ・パルチョーク郡の農作物集荷センターでオープニングセレモニーが開催されました。このセンターは、地元農産物の集荷を通じて住民の所得向上と貧困削減を目的としています。また、同学友会は2015年のネパール大地震で日本から寄せられた義援金を原資とし、子どもたちの教育支援を続けています。



子どもたちに奨学金支援

モンゴル米山学友会

2024年に創立10周年を迎え、「学友からロータリアンへの親孝行」をテーマに記念式典を開催。約140人が出席し、活動を振り返りました。また、授業時間が限られるゲル地区の学校に図書館を設立するプロジェクトを推進し、参画する日本とモンゴルのロータリークラブをつなぐ橋渡し役を担っています。さらに、2024年から障がい児の歯科健康支援として幼稚園で歯科検診を開始。地域と連携し、必要な治療につなげるなど奉仕活動に力を入れています。



幼稚園での歯科検診

日本と世界を結ぶ人づくり 事業の要は、カウンセラー

スリランカ米山学友会

スリランカ国内だけでなく、日本、アメリカ、カナダ在住の学友も参加し、毎月オンラインミーティングを開いて連携を強化しています。また、毎年新学期に山村の小学校へ文具を送る奉仕活動を実施。さらに、コロナ禍には国際ロータリー第2530地区と協力し、病院へ医療機器を寄贈しました。2023年にはビーチクリーン活動を実施するなど環境保護にも取り組み、社会貢献に努めています。



文具セットを受け取る子供たち

マレーシア

米山学友が日本で学んだ知識や技術を社会に還元する教育プログラムを実施。日本語教育や日本の労働倫理を学ぶオンライン講座を開講しました。さらに、日本留学支援にも注力しています。日本留学フェアへのブース出展や、2025年1月からは独自に毎月1回の無料日本留学コンサルティングを実施するなど、留学希望者が安心して準備できるよう、情報提供を積極的に行っています。



日本語指導に関する講座を開催

ミャンマー

東京米山ロータリーEクラブ2750と連携し「田中作次奨学金」を通じてミャンマーの若者への教育支援を行っています。この奨学金は、元国際ロータリー会長・田中作次氏の冠名奨学金であり、米山奨学金制度を模範として設立されました。ミャンマー米山学友会の学友たちが自ら現地奨学生の選考を行い、支援活動を推進しています。また、現地の小学校へ本、机、お米などを寄付する奉仕活動も続けています。



「田中作次奨学金」オンラインでの授与式

ベトナム南(ホーチミン)

2014年からホーチミンで有志が集まり、学友グループとして活動を開始。2023年には10番目の学友会として正式に発足しました。日本のロータリークラブと協働し、児童・障がい者・高齢者向け福祉施設への慰問や物資の寄贈、独自の奨学金支援に力を入れています。活動時に着用するオリジナルポロシャツの背には、「超我の奉仕」の文字が刻まれ、奉仕の精神を次世代に繋ぐことを大切に活動を展開しています。



児童福祉施設への訪問と物資の寄贈

■事業創設70年を経た奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業は日本のロータリーの誇るべき国際奉仕活動です。奨学生数は全国で約970人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界134の国・地域からの留学生2万4千人超を支援してきたこの事業の要は、「カウンセラー」です。1971年にカウンセラー制度が導入されて以来、奨学生とカウンセラーによって、国際交流と親善の歴史が育まれてきました。

■巣立った後も学友との交流を

巣立った後も、カウンセラーと学友との絆を大切に、奨学期間終了後も例会などに招待しているクラブがあります。メールでのやり取りを絶やさず交流を続ける場合や、お互いの国を訪問し合う場合もあります。さまざまな形で交流を続けることで、米山学友の皆さんも学友としての誇りと自覚を持ち続けることができます。

カウンセラーの声



ベトナム出身奨学生のカウンセラー
Oさん(福島東RC)

どの奨学生も日本の文化や生活を学ぼうとする意識が高いと感じています。食事の際などは、同年代の日本人よりも目配り・気配りができる事に驚きました。私自身、奨学生から学ぶものがたくさんあると考えています。



中国出身奨学生のカウンセラー
Sさん(長岡RC)

ひたむきな奨学生です。少しでも不安を取り除き、勉学に励む環境を整えてあげたいと思っています。日本と、ロータリアンと、いや国際人として、人と人とのつながりの中で大きく育ってほしいと思います。



台湾出身奨学生のカウンセラー
Aさん(愛知三州RC)

当クラブでは、私が出られないイベントがあれば会長をはじめ誰かがサポートに入ってくれます。複数人体制でカウンセラーを置くクラブもあるようです。「カウンセラーは奨学生の手本となるべき」「海外からの留学生を預かる」云々と考えすぎると、せっかくのチャンスを見送ってしまうと思います。故齋藤直美理事長が仰っていた、「まずは留学生とお友達になってください」という言葉通りでまったく問題ありません。米山奨学生と触れ合う期間は私だけでなく、職場の人間、そして家族にも、すばらしい刺激的な日々を与えてくれました。



マレーシア出身奨学生のカウンセラー
Nさん(武生府中RC)

カウンセラーを引き受ける前までは外国の方々からあまり良い印象を受けていませんでした。しかし奨学生と日々接するうちに、私自身も様々な事を勉強させていただく機会に恵まれ、意識を変えるきっかけになったと思います。



韓国出身奨学生のカウンセラー
Tさん(東京城東RC)

子供たちも奨学生に興味津々で、交流を期待しています。若い人同士、異なる文化、異なる歴史、異なる環境を互いに受け止めながら、共通する想いを共有して、それぞれの中で育んでくれる事を期待しています。

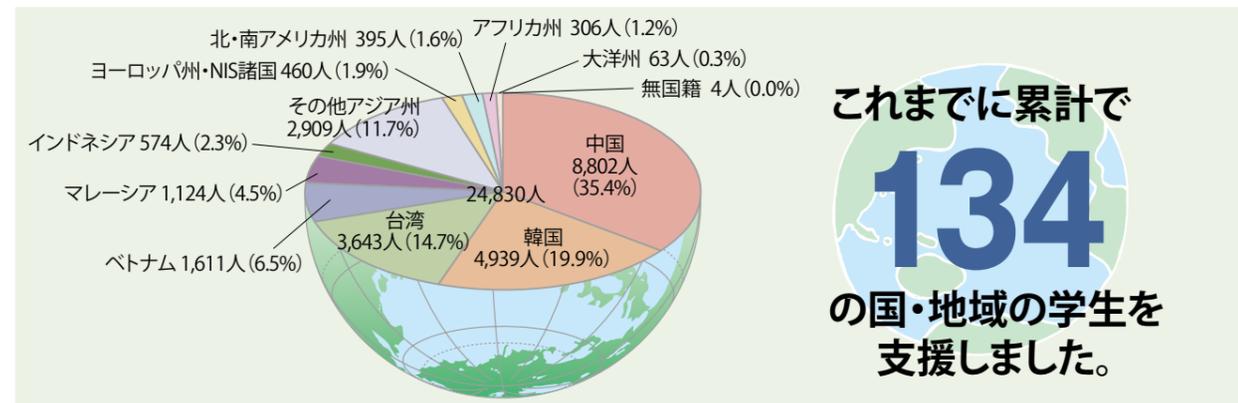
データで見る米山学友

奨学生累計:24,830人(現役奨学生:964人/学友:23,866人)2025年6月末現在

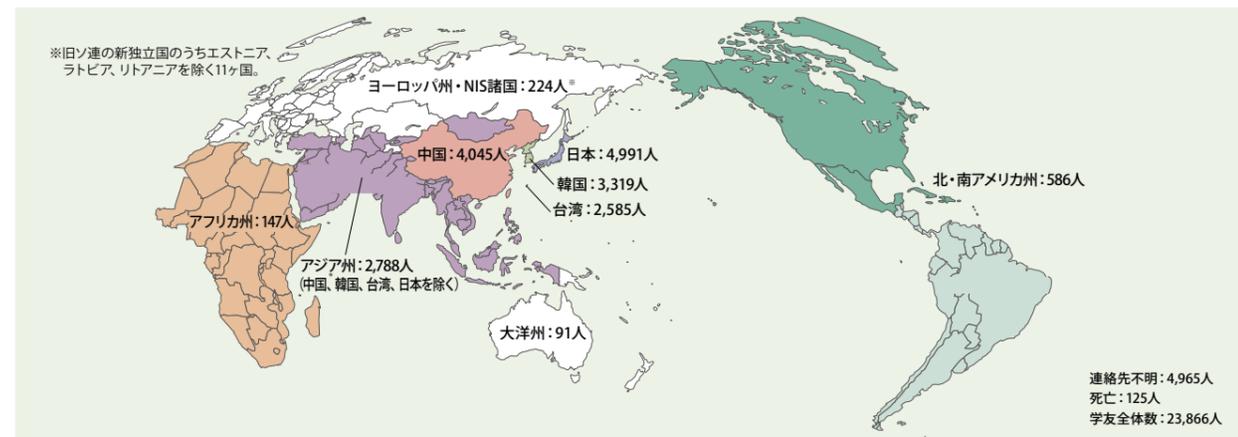
1.米山奨学生数の推移



2.これまでに支援した奨学生の国・地域



3.世界で活躍する米山学友



学友なんでも

資料館

Q1 出身校BEST10は?

1	東京大学	987人
2	筑波大学	788人
3	大阪大学	629人
4	名古屋大学	488人
5	信州大学	464人
6	九州大学	431人
7	東北大学	430人
8	神戸大学	414人
9	京都大学	377人
10	早稲田大学	374人
	埼玉大学	374人

※複数回奨学金を受けた者で異なる学校に所属した者は、それぞれの学校でカウント

Q2 博士号取得者数は?(申請ベース)

A 4,215人 (国外取得者、渡日前取得者を含む)

【博士号取得者の国・地域ランキング】

1	中国	1,645人
2	韓国	1,358人
3	台湾	649人
4	Bangladesh	96人
5	ベトナム	55人

【博士号の種類】

1	工学	1,281人
2	医歯薬等	903人
3	農学	554人
4	社会科学	518人
5	理学	372人

(米山奨学会独自の分類です)

Q3 学友の現在の職業は?

1	会社員	4,639人
2	教育	4,277人
3	研究所	652人
4	学生	623人
5	企業経営・自営	541人

(米山奨学会独自の分類です)

Q4 ローターリー会員になった学友の国・地域は?

A 311人 (米山奨学会把握分)

1	台湾	88人
2	中国	74人
3	韓国	73人
4	ミャンマー	13人
5	ネパール	10人

★ガバナーになった学友:3人 ※衛星クラブの会員数を含む

米山学友を中心に発足したロータリークラブ

- 台北東海RC (第3482地区)
加盟承認: 1995年1月31日 ※公用語は日本語
- 台中文心RC (第3461地区)
加盟承認: 2007年3月16日 ※公用語は中国語
- 東京米山友愛RC (第2750地区)
加盟承認: 2010年3月16日
- 東京米山ロータリーEクラブ2750 (第2750地区)
加盟承認: 2012年6月21日 ※インターネット上で例会を行う
- さいたま大空RC (第2770地区)
加盟承認: 2013年11月25日 ※財団学友と米山学友により創立
- 茨城ロータリーEクラブ (第2820地区)
加盟承認: 2019年5月27日 ※第2820地区で初のEクラブ

米山学友を中心に発足した衛星クラブ

- 東京麹町スターロータリー衛星クラブ (第2580地区)
加盟承認: 2022年4月26日
- 宝塚ユニバースロータリー衛星クラブ (第2680地区)
加盟承認: 2023年3月16日